

MITSUBISHI

三菱電機エアコン別売部品

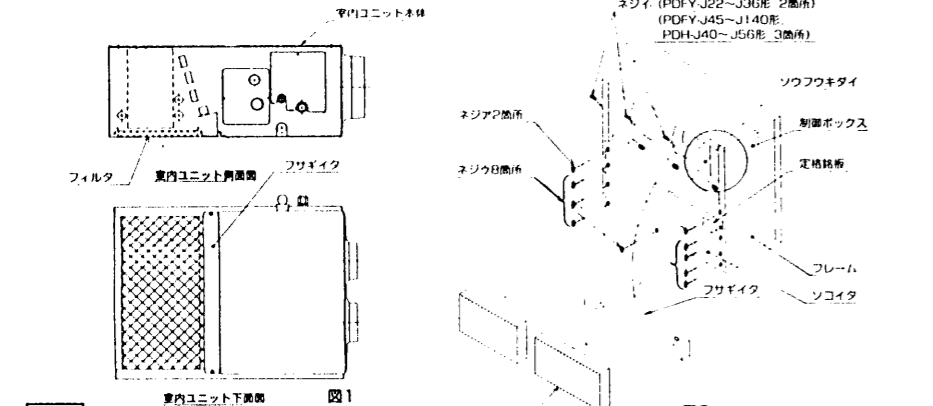
単相電気ヒータ(PAC-KD50・53・54・56EH)取付説明書

適用機種：PAC-KD50EH (室内ユニットPDFY-J22・28・36形用)
 PAC-KD53EH (室内ユニットPDFY-J71・80・90形用)
 PAC-KD54EH (室内ユニットPDFY-J112・140形用)
 PAC-KD56EH (室内ユニットPDFY-J45・56形, PDH-J40・50・56形用)
 WTO1957X02

電気ヒータ取付要領

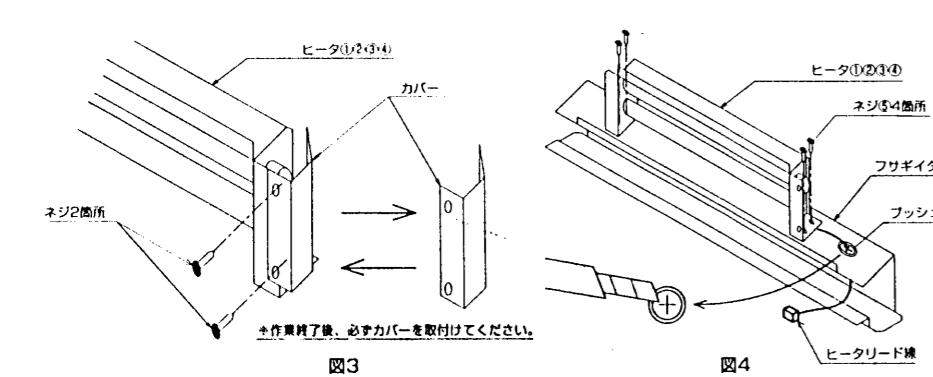
1 フサギタ(電気ヒータ取付板)の取出し

- 電気ヒータの取付は、室内ユニット本体の据付工事前に行なってください。
 - 電気ヒータの取付手順は、①～③となっています。
- 作業に取掛かる前に、フサギタの取付位置を確認してください。(図1参照)
 - 室内ユニット本体よりフィルタを取外し、ネジ止めされているフサギタを取出してください。(図2参照)
- ネジ止め位置は、サイドフレームのネジ②(2箇所)とソウフウキタイのネジ④(PDFY-J22～J36形2箇所, PDFY-J40～J140形, PDH-J40～J56形3箇所)となっています。
 注) PDFY-J112・J140形は、ドレンパンを外してからの電気ヒータ取付を推奨します。尚ドレンパンの外し方は、ネジ止めされている(ネジ⑧8箇所)ソコイタを外し、ドレンパンを傷つけないように本体から引き抜いてください。



2 電気ヒータ取付

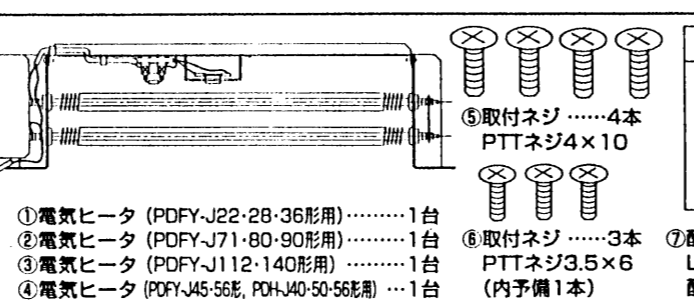
- 電気ヒータ本体にネジ止めされているカバーを、取外してください。(図3参照)
- ①項で取出したフサギタに、電気ヒータ(①②③④)を付属の取付ネジ⑤にて4箇所ネジ止めしてください。(図4参照)
 ※電気ヒータは、「ガタツキ」がないよう確実にネジ止めしてください。
- フサギタに取付けてあるプッシュにカッターナイフ等で切込みを入れ、ヒータのリード線を通してください。(図4参照)
- ヒータ取付作業終了後、①項で取外したカバーを取付けてください。



3 フサギタ(電気ヒータ付)の室内ユニット本体への取付

- 電気ヒータの取付が完了しましたらフサギタを①項とは逆の手順で室内ユニット本体に取付けてください。
- 尚、フィルタにつきましては、次項電気配線を実施後元通りに取付けてください。

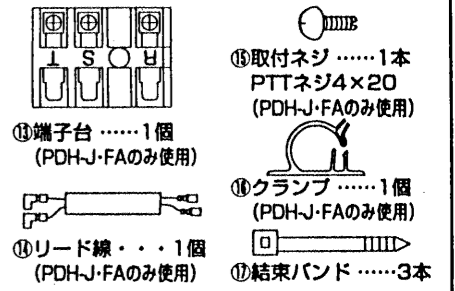
付属部品 各別売部品には、この取付説明書以外に、右記形名のあとに記入番号の部品が入っていますのでご確認ください。



PAC-KD50EH (①, ⑤, ⑥, ⑦, ⑨, ⑩)
 PAC-KD54EH (③, ⑤, ⑥, ⑧, ⑩, ⑪)

PAC-KD53EH (②, ⑤, ⑥, ⑦, ⑩, ⑪)
 PAC-KD56EH (④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑩, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰)

三菱電機株式会社

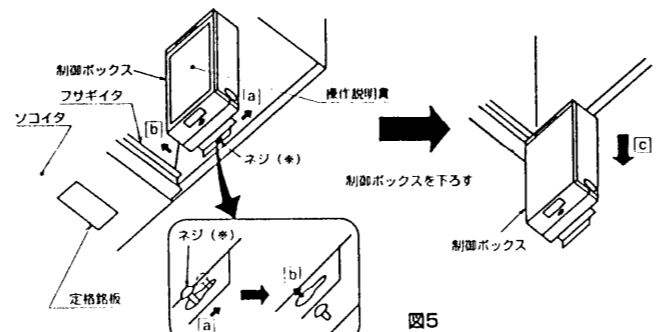


電気配線要領(PDFY-J・MA)

- 制御ボックスのカバーに貼付けています、操作説明書の機種名と定格銘板(室内ユニット下部に貼付けています)の機種名が一致していることを確認してください。
- 電気配線作業手順は、①～③となっています。

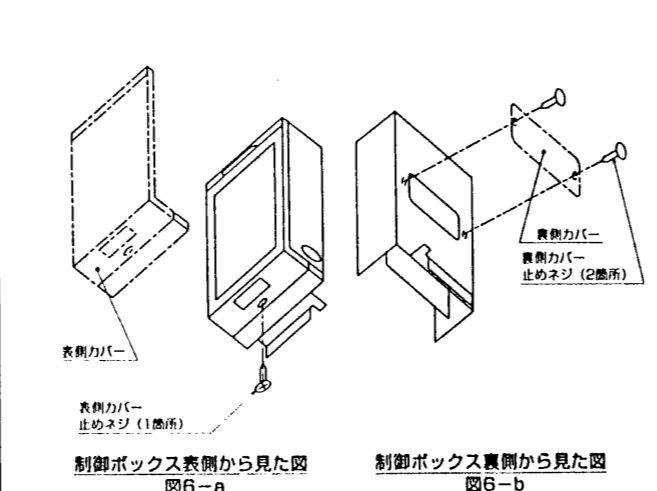
1 制御ボックスの取出し

- 制御ボックスを室内ユニット本体から取り外してください。取り外し方は、※部ネジを緩め矢印の方向[a][b][c]の手順で制御ボックスを移動させますと取り外せます。(図5参照)又、制御ボックス側面にあるコネクタの取り外しは不用です。注) 後吸込仕様での制御ボックスの取り外し方は、後吸込ボックスの説明書を参照願います。



2 制御ボックスカバーの取外し

- 取り外した制御ボックスで、表と裏側にあるカバー2枚を取り外してください。(図6-a, b参照)



3 配線セットの取付

- リレー取付
 - 図6-bに示す制御ボックス裏側より、配線セット⑦⑧に同梱されているリレー(配線された状態)を取付ネジ⑥にて制御ボックスに取付けてください。
 注) 図7-a, bに示すようにリレーの取付方向に、ご注意ください。
- リレー配線引き直し
 - 制御ボックス側面に貼り付けている銘板(図8参照)上の「CN24(別売)ヒータコネクタ取入口」と明記した箇所に穴を明けてください。
 - リレーから出ている配線の先端が丸端子のリード線(J22～J90は2本, J112・J140は4本)と先端が白、青、黒色のコネクタのリード線を上記1)で明けた穴より制御ボックスの外へ取り出してください。(図8参照)
- コネクタの接続
 - リレーからの配線と電気ヒータ本体からの配線を、それぞれコネクタの色(白-白, 青-青, 黒-黒)に合わせて接続してください。(図8参照)
 - リレーから出ている配線で黄色のコネクタは、制御ボックス表側にあるインドアキバン上のCN24へ差し込んでください。
 注) 機種により、CN24のコネクタ位置及び、配線の引き回しが異なりますので図9-a, bを参照し配線をした上、コネクタ接続してください。
- 電源線接続
 - 丸端子が付いたリード線は図10のように室内ユニット本体にある電源用貫通穴を通し、ヒータ用別電源配線と接続してください。
 注1) ヒータリード線とヒータ用別電源配線の接続は、丸端子に付属の部品(ネジ, 平座金, ナット, パネ座金)を用いて接続し、接続後必ずテーピング等の十分な絶縁処理を行い、プルボックス(現地手配)等に納めてください。
 注2) 後吸込仕様で制御ボックス外部取付の場合は、電源用貫通穴を通す必要はありません。

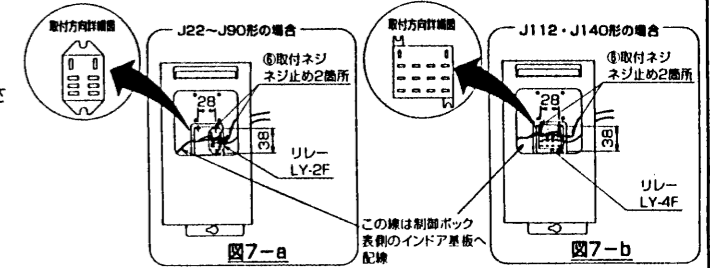


図7 制御ボックス内部構造図

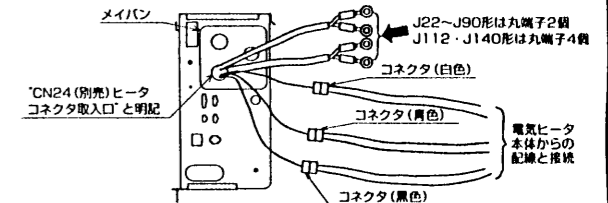


図8 制御ボックス側面図 J112・J140形のみあり

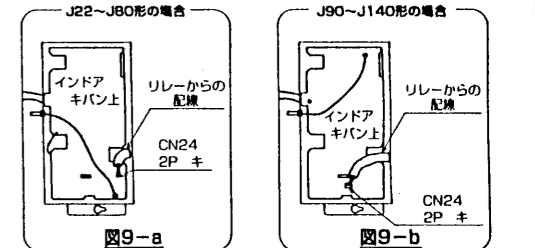


図9 インドアキバン図

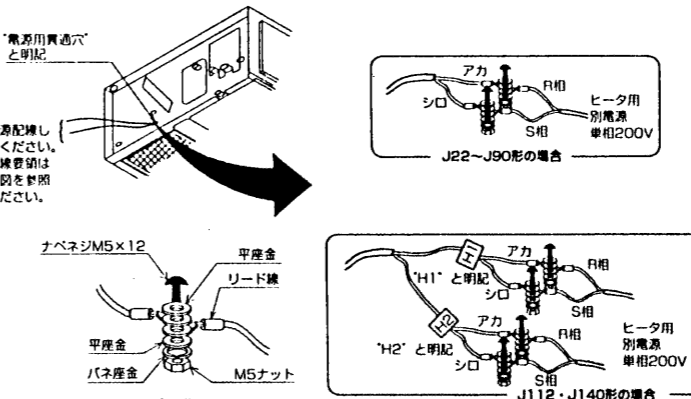
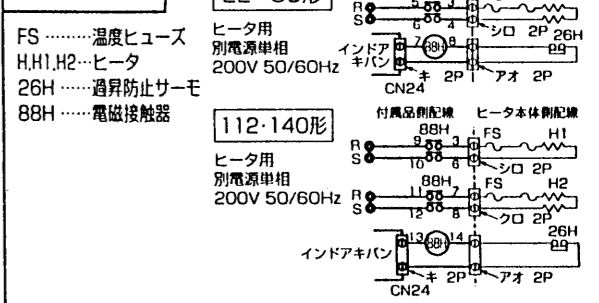


図10 電源線接続図

- 仕上げ
 - 配線接続が終了しましたら結束バンド⑰にて配線のたるみ等がある所は結束してください。
 - 制御ボックスのカバー(表側・裏側)を図6-a・bの示す手順とは逆の手順で取付けてください。
 - 制御ボックスを室内ユニット本体内に、図5とは逆の手順で取付けてください。
 注) 制御ボックス取付時、配線がかまないようにご注意ください。断線の原因となります。
 - フィルタを元の位置に取付けてください。

配線図

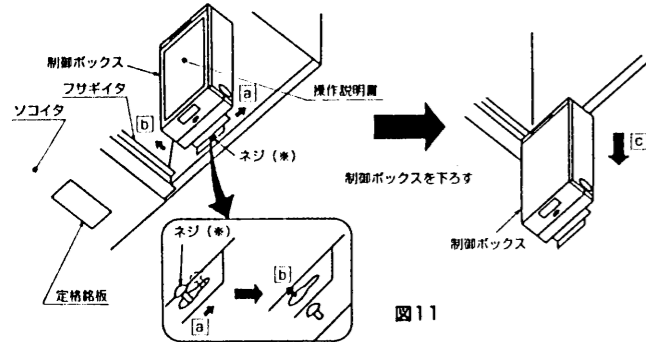


電気配線要領(PDH-J・FA用)

- 制御ボックスのカバーに貼付けています、操作説明書の機種名と定格銘板(室内ユニット下部に貼付けています)の機種名が一致していることを確認してください。
- 電気配線作業手順は、①～⑥となっています。

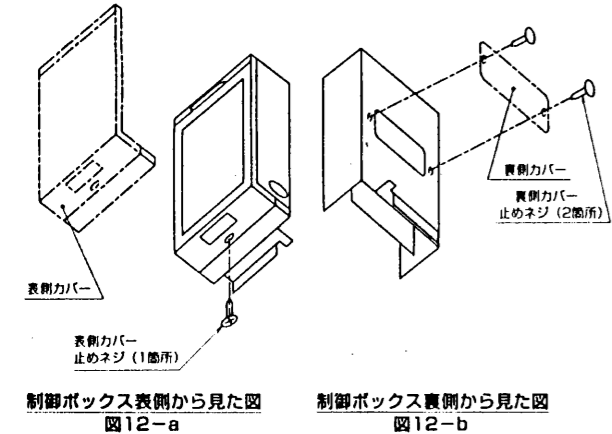
1 制御ボックスの取出し

1. 制御ボックスを室内ユニット本体から取り外してください。
取り外し方は、※部ネジを緩め矢印の方向 [a] [b] [c] の手順で制御ボックスを移動させますと取り外せます。(図11参照)
又、制御ボックス側面にあるコネクタの取り外しは不用です。
注) 後吸込仕様での制御ボックスの取り外し方は、後吸込ボックスの説明書を参照願います。



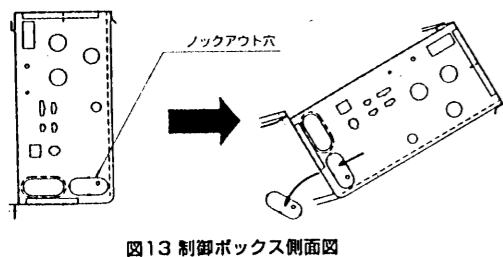
2 制御ボックスカバーの取外し

1. 取り外した制御ボックスで、表と裏側にあるカバー2枚を取り外してください。(図12-a, b参照)



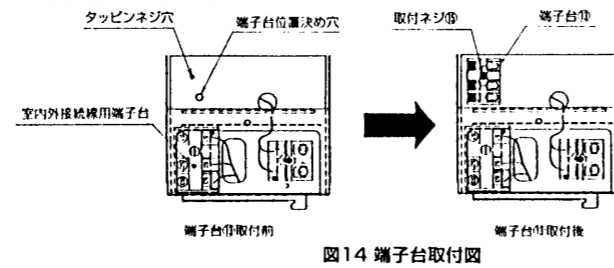
3 制御ボックスノックアウト穴打抜き

1. 制御ボックス側面(図13参照)のヒータ電源配線用ノックアウト穴を打ち抜いてください。
注1) ノックアウト穴の打ち抜きは、必ず端子台を取り付ける前に行なってください。
注2) 打ち抜かれたノックアウト穴のエッジ部は、テープ等でエッジ処理してください。
注3) ノックアウト穴の板は、機内に残さず必ず廃却してください。



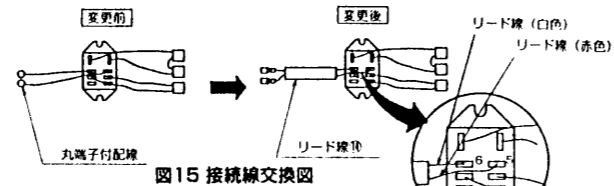
4 端子台取付

1. 制御ボックス正面(図14参照)の室内外接続用端子台上部の端子台取付穴に端子台⑩を取付ネジ⑮でネジ止め固定してください。



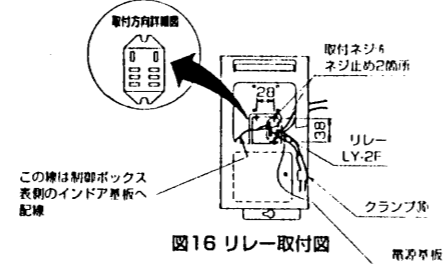
5 接続線交換

1. リレー(配線セット⑦)に配線されている丸端子付配線を外し、リード線⑪をリレーのファストン端子(5番・6番)に差し込んでください。(図15参照)

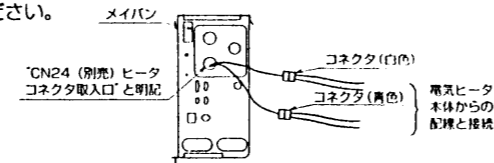


6 配線セットの取付

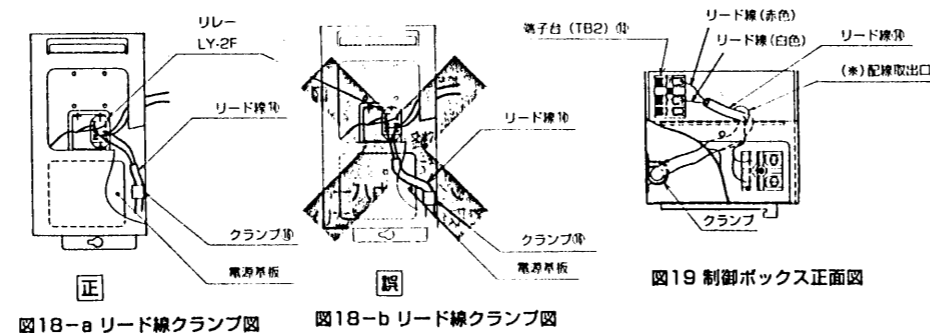
1. リレー取付
1) ⑤項で接続線を交換したリレーを制御ボックス裏側より取付ネジ⑮にてネジ止め固定してください。(図16参照)
注) 図16に示すように、リレーの取付け方向にご注意ください。



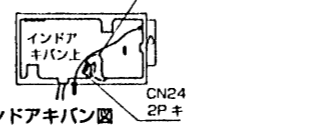
2. リレー配線引き直し
1) 制御ボックス側面に貼り付けている銘板上の「CN24(別売)ヒータコネクタ取入口」と明記した箇所に、穴を明けてください。(図17参照)
2) リレーから出ている配線の内、先端が白、青色のコネクタのリード線を上記1)で明けた穴より、制御ボックスの外へ取り出してください。



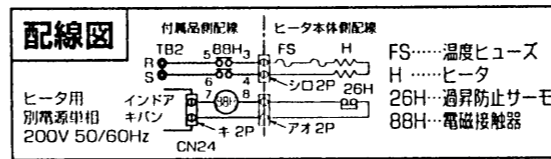
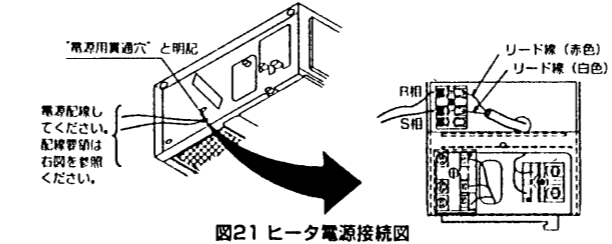
- 3) リード線⑪は、電源基板に掛からないようにクランプ⑯にて固定し、(図18-a, b参照)配線取出口(※)より端子台(TB2)⑩のR, Sファストン端子に差し込んでください。(図19参照)



3. コネクタ接続
1) リレーからの配線と電気ヒータ本体からの配線を、それぞれコネクタの色(白-白, 青-青)に合わせて接続してください。(図17参照)
2) リレーから出ている配線で黄色のコネクタは、制御ボックス表側にあるインドアキバン上のCN24へ差し込んでください。(図20参照)



4. 電源線接続
1) ヒータ用別電源配線は室内ユニット本体にある電源用貫通穴を通し、③項で明けたノックアウト穴よりヒータ専用電源端子台(TB2)⑩に接続してください。(図21参照)



5. 仕上げ
1) 配線接続が終了したら結束バンド⑰にて配線のたるみ等がある所は結束してください。
2) 制御ボックスのカバー(表側・裏側)を図12-a・bの示す手順とは逆の手順で取付けてください。
3) 制御ボックスを室内ユニット本体内に、図11とは逆の手順で取付けてください。
注) 制御ボックス取付時、配線がかまないようにご注意ください。断線の原因となります。
4) フィルタを元の位置に取付けてください。

「日本冷凍空調工業会標準規格」 JRA4001に基づくお願い

ヒータを組込んだ後試運転・動作確認を行ない、付属の標準仕様書銘板⑨～⑫を適合機種ユニットの定格銘板の横に貼付けてください。
注) 室内ユニット本体の定格銘板は、ソコイタに貼付けてありますので、その横に貼付けてください。

ご注意

電気ヒータ本体と保護装置の位置関係は安全上および機能上非常に重要な要素ですので、正規の位置以外への取付および保護装置部品(サーモ、ヒューズ等)の変形がないよう確実に作業願います。尚、サーモもしくは、ヒューズ交換の際は必ず弊社サービス品を使用願います。
又、電気ヒータ回路の現地改造は、安全面で大きな疎外要因となりますので絶対に行わないでください。